

山行申し込み、個人山行の届けは平井へお願いいたします。

携帯メールアドレス：tad-hira@ezweb.ne.jp または P C アド：izc00565@nifty.com

いわて生協山の会：2023 年 6 月の山行計画

山行日	行き先	難易度	参加費	参加×切	備考
6/3(土)	岩手山	★★★★☆	1,000 円	5/29	馬返し～御神坂へ縦走します。
6/11(日)	八幡平	★☆☆☆	1,000 円	6/5	きれいなドラゴンアイが見れるかな？
6/17(土)	秋田駒ヶ岳	★★☆☆	800 円	6/12	今度は花の山になっているかも？
6/23(木)-25(日)	道南の山	★★☆☆	40,000 円	6/10	道南の 2 百名山 4 つに登ります。

参加費は 5 人参加の場合の概算です。人数により変更あります。予めご了承ください。申し込みは平井へ

6-8 月の県外山行の計画

6/23(金)-25(日) 道南の二百名山を巡る：大千軒岳・恵山・狩場山・駒ヶ岳

6/22(木) 19:00 滝沢本部発⇒青森港(フェリ)23:30⇒3:20 函館港

6/23(金) 3:30 函館発⇒大千軒岳登山口～(歩行 6:00)⇒恵山ツツジ公園(歩行 2:00)⇒函館(泊)

6/24(土) 6:00 宿発⇒狩場山登山口～(歩行 5:30)⇒17:50 島牧村 YH(泊)

6/25(日) 6:00 宿発⇒駒ヶ岳登山口～(歩行 2:00)⇒函館港(フェリ)⇒青森港⇒20:25 滝沢本部解散

参加費：¥40,000 集金(残金清算) 参加×切：6/10

7/13(木)-16(日) 関東と新潟の山：東麓の登山・仙の倉山・巻機山を駆ける

7/13(木) 15:00 滝沢本部発⇒<高速道>途中仮眠⇒6:00 車坂峠登山口 *YH が閉館のため変更

7/14(金) 6:00 登山口発⇒麓の登山(歩行 4:25)⇒黒斑山(歩行 3:00)⇒*インゼリツト湯沢(泊)

7/15(土) 7:00 宿春⇒登山口 8:10～平標山・仙ノ倉山(歩行 7:15)⇒*インゼリツト湯沢(連泊)

7/16(日) 7:00 宿春⇒桜坂登山口～巻機山登山(歩行 7:45)⇒<高速道>⇒0:30 滝沢本部解散

参加費：¥25,000 集金(残金清算) 参加×切：7/2

8/4(金)-6(日) 双六岳から西鎌尾根・槍ヶ岳へ周回 *8/3(木) 15:00 出発

8/4(金) 7:00 新穂高温泉～小池新道～鏡平～(歩行 7:20)～14:40 双六小屋(泊)

8/5(土) 7:00 双六小屋発～双六岳～西鎌尾根～(歩行 7:30)～15:10 槍ヶ岳山荘(泊)

8/6(日) 6:30 小屋発～飛騨乗越～槍平小屋～(歩行 7:25)～新穂高温泉⇒0:15 本部解散

参加費：¥50,000 集金(残金清算) 参加×切：7/20

**次回の例会は 2023/6/8(木) 18:30～ ベルツ青山 2F 会議室にて
7 月の会山行と 8-9 月の県外山行計画などについて話合います。**

■4/10(月)-12(水) 吉野山と京都

参加者 CL/金子・SL/平井・泉・シガ・中根・セツ子 6名

4/10(月) 天気恵まれ、花巻空港より 1:30 程で伊丹空港に到着。レンタカーを借りて一路吉野山へ、中千本Pに駐車出来ラッキー。13:05 舗装された急坂をつづら折りに喘ぎ喘ぎ登る。今年は桜前線が早く、想定内とはいえ葉桜を眺めながら、満開時期はさぞかし素晴らしいだろうと想像を膨らませながら、しかし途中の高城山展望台からの眺めは圧巻でした。奥千本の辺りはまだ咲いているという情報を励みに、更に急坂を進む。確かに奥千本の西行庵には数本の満開の桜、その向かいには若い桜が斜面一杯に花を咲かせている。頑張ってきたご褒美だ、美しい。後は下る一方、さすが吉野山、葉桜とはいえ人・人・人まるで外国へ来たような、そんな外国人の人混みに少々うんざり。15:5 無事到着ですぐ移動開始。以前にもお世話になった宇多野 YH にてまったり。



4/11(火) 美味しい朝食をしっかりといただき仁和寺へ移動。8:20 セブンイレブンの脇道より歩き始める。ここは四国 88 カ所を巡拝出来ない人の為にお堂を立て、弘法大師と本尊を祀り阿波の国 23 カ所土佐の国 16 カ所伊予の国 26 カ所讃岐の国 23 カ所、徳島、高知、愛媛、香川を経由しながら弘法大師と本尊を祀ってあるお堂を巡るコースで「御室(おむろ)88 カ所巡り」と呼ばれています。8:30、1 番札所到着。入り口には弘法大師像が迎えてくれ、此より安らぎの道と名付けられた木立の中を進む。88 カ所のお堂には、大師様とそれぞれのお



寺の本尊が対となり鎮座している。急坂、階段の上り下りで結構大変だったがお参りする度に心が洗われる、そんな心境になったのは私だけだったのでしょうか。10:40、88 番札所(大窪寺)に到着した時は沢山のご利益をいただいた…ような思いがし、貴重な経験をさせてもらって、心から来てよかったと思いました。合掌! 11:05~11:55 仁和寺の御室桜はほとんど散っていたが、低木ながら力強さ驚きを感じ、五重塔の美しさ

に感激し、国指定名勝御所庭園の美しさと敷地の広さに驚きながら、訪れたかった仁和寺への思いが又一つ叶えられました。ありがとうございます。後編へ続く。(中根)

4/11(火) 牛若丸や天狗の物語でおなじみの鞍馬寺です。狛犬(虎)に守られている立派な仁王門(山門) をくぐり(12:30) 出発です。九十九折りに急登の参道は階段登り…息切れをしながらやつのおもいで本殿金堂 に到着(13:30)。それぞれお参りをし、御朱印もいただき、後は急坂の階段そして山道を下ります。鞍馬山の西門(13:50)を出ると貴船神社へと続きます。貴船川が流れ京都の水源になっているとのことで、水の神様の神社です。ここも参道は石段を登ります。お参りを済ませ(14:00)桜が咲いていたら貴船川沿いに楽しめたのに…



散ってしまったので、平井さんが途中からバスで鞍馬の駐車場に戻り、車を周回して YH へ戻ります。途中金閣寺や仁和寺周辺は旅行者で混雑しています。早めに YH に到着したのでゆっくりくつろぎ、入浴をしたり荷物の整理をし(18:30)京都らしいメニューの夕食を美味しくいただき早めに就寝しました。(セツ子)

4/12(水) 天気予報は雨。伏見稲荷大社のお詣りが済むまで降らないことを願い、YH(7:45) 出発。通勤・通学のラッシュ時間帯の市内を走り(8:35)到着。京都駅のそばで全国の稲荷神社の総本宮で商売繁盛、五穀豊穡の神様です。世界遺産の稲荷大社は狛犬(狐)に守られた立派な楼門をめぐり境内に入ると観光客、外国人・学生等、大勢の人・人…です。お詣りを済ませ、いよいよパワースポットの朱色の千本鳥居に進みます。少し気持ちがドキドキ感です。鳥居は、稲荷山(223m)に小さな鳥居やお塚、無数の鳥居をめぐり階段、アップダウンを繰り返して息切れしながら頂上の一の峰、末広大神をお詣りし(9:45)下山です。もうすぐ境内に着く頃、雨が降りだしました。お詣りというより山登りでしたが、神秘的な鳥居を無心でめぐり、ご利益巡りが出来ました。(10:20)



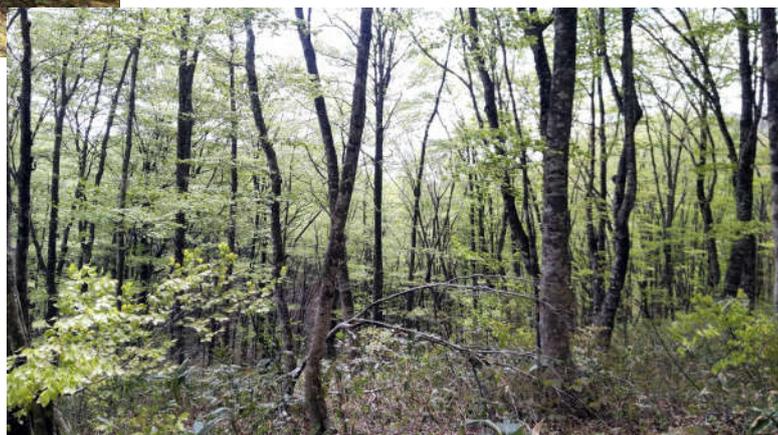
伏見稲荷大社をあとにし、雨降る宇治の平等院へ向いました。10円硬貨で有名です。藤の花の香る中に極楽浄土を現した、世界遺産の平等院・鳳凰堂には阿弥陀如来坐像が、鳳翔館には雲中供養菩薩像や梵鐘や鳳凰一対がケースにおさめられ(本物でした)を見学しました。観光客も少なく静かに訪ね(12:15)早々に伊丹空港へ向いました。空港内では私には無理な搭乗準備の機械操作を教えてくださいながら済ませ、昼食・お土産を買い

(16:10)発で無事に花巻空港に着陸でき(17:30)バンザイ。そして一安心しました。でも黄砂で霞む中それぞれ送っていただきありがとうございました。感謝!感謝です。ご利益巡りでしたが、清々しい気持ちでご利益と無事山行が続けられますように…と願いました。(セツ子)

■4/23(日) 羽山~羽黒山



参加者 CL/金子・SL/平井・セツ子 3名
7:00 滝沢本部出発⇒羽山登山口で車回送。8:45～登り初めは風が強くて大変でした。ギザギザ道をゆっくり登りました、今年のイワウチワすっかり終わっていました。9:30 羽山頂上近くはツクバネソウカタクリセ。リバオオレン・コシアブラもありました、記念写真を取り急な坂を降ります。ロープが取り付けられていました。所々可愛い満開のイワウ



チワも咲いています。日が差し、振り返ると新緑・深緑・萌黄色、ムラサキヤシオも緑の間にきれいです。いつもの場所で、シラネアオイが迎えてくれました。11:45 羽黒山。軽くお昼~13:00 下山。車回送に行こうとしたら「鍵がない!」とのこと。タクシーを呼んでもらって羽山登山口へ、平井の車の座席にカギがありました。ほっと一安心…。いつもの岩沢のミズ

バショウ散策は、すっかり忘れていました。帰りも、車窓から桜や梅の花に感激でした。皆さんありがとうございます。14:30 滝沢本部着。盛岡辺りは、小雨でしたが区界は霰からやっぱり雪になりました、(黒澤)

■ 4/30 (日) 栗駒山⇒悪天候ため中止

参加予定 CL/平井・泉・伊藤・中根・フク子 5名

■ 5/6 (土) 白木峠⇒悪天候ため中止

参加予定 CL/金子・SL/平井・黒澤・照井・フク子・女鹿 6名

■ 5/14(日) セツ森

参加者 CL/金子・SL/平井・照井・フク子・女鹿 5名

前日は雨、今日の降水確率は60%でしたが、朝はなんと雨ではなく曇り！予定通り山行となりました。8時に本部を出発。登山口でフク子さんと合流し、まず、登る山々を地図で確認しました。セツ森は、「雫石町にある7つの連なった低山の総称」「宮沢賢治の文学作品ゆかりの地」(ウィキペディアより)で、



気になっていた場所。今回は、石倉森、鉢森、三角(みかど)森、勘十郎森、生森(おおもりの五山を登りました。8:35登山開始、配水場を右手に見ながら進み、8:45石倉森頂上着(297.7m)。それほど時間はかかりませんでした。ヤブレガサ、オモトツバメ、マイヅルソウ、ガマズミの花を見ることができました。石倉森を下って登り、9:02鉢森頂上へ。鉢森から三角森へ行く途中、道の

両脇にレンゲツツジとヤマツツジが咲いていました。レンゲツツジはレンゲの花のように、花が集まって咲いて花束のよう。ヤマツツジもきれいでした。そのほか、アマブキ、フジの花もありました。右手に小学校が見え、9:20三角森頂上着。次は三手ノ森をめざしましたが、登山道がどうしても見つけられず、過去にも登った金子さんの話によると、そのときも藪を漕いで行ったようなので、ここはあきらめ、勘十郎森へ。途中、シロバナエンレ



イソウ、ヒトリシズカを見ることができました。10:25勘十郎森頂上着。東屋があり、ここで10分ほど休憩。10:35下山を開始し、整備された階段(細い丸太を並べた)を下り、住宅地の中を抜けて、最初の登山口に11:05着。次は生森へ。始めは石倉森に行くルートと同じで、途中から道幅の広い道路を歩き、11:45生森頂上着。周囲にツツジが美しく咲く東屋でゆっくりお昼を食べ、下山しました。久々の山歩きだった私は、最後の下りで両ひざが痛くなり、みなさんに助けてもらいました。ありがとうございました。(照井)